

土地整理土木工事業におけるトラックを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	8～9	現場資材置場で2tダンプ荷台へ工事に使用する暗渠管の積込中、管を固定するためのロープがうまくかからず、やり直しをされていて、身体のバランスを崩して碎石地面に落下し、左肘を強く打ってしまった。	59	1～9
1	8～9	当社資材置き場より積んだ残土の処理を行った帰り、道路の下り坂が凍結しており、当方の車（4tダンプ）減速したが、強風に煽られタイヤがスリップし、反対車線の先の土手に助手席側から衝突し、腰付近を強打した。	24	10～29
2	17～18	工事現場にて、2tトラックより、パワーショベルを下ろし作業中、後部のあおりを開き手で持たず、下ろした為、勢いよくあおり板が下り、はね返り左足膝部分に当たり打撲負傷した。（負傷当日は、さほど痛くなかった為、湿布薬を貼り我慢して仕事をし過ごしていたが、約3ヶ月後、痛みが酷くなった為、受診した。）	42	—
3	10～11	資材置場にて大型土のうをトラックの荷台より降ろす作業中、土のうを重機で吊り上げたものの土のう下部が破損しており、土砂がこぼれ落ちるので重機運転手が荷を横移動させた時、被災者が避け損ねて土のうと接触し、トラック荷台から転落して被災した。	64	1～9
4	14～15	ガス管取出工事現場に於いてダンプカーの荷台から砂利を降ろした後、ダンプカーの荷台を下げている時、挟まった小石を取り除こうとして右手中指先を挟んだ。	44	1～9
4	10～11	当社土場にて残土運搬作業中に、土をダンプから降ろそうとしていて、リヤゲートに石が引っかかった為、リヤゲートを取り外そうとした時に石が右足の足元に落ち骨折した。	21	10～29

5	8～9	工事完了に伴う敷鉄板返却の為、資材置場に搬入し4tトラックの荷台の鉄板下に木片を入れようとバールにてこじ開けようとしたところ、バールが外れ、その反動で後方へ転落し、腰付近を打撲した。	65	～ 49
7	10～11	場内整備工事現場において、4tダンプの運転席で積載していた残土を下ろすために操作したが、なかなか落ちず、急に滑り落ちた勢いで車体前方が持ち上がり、そのまま車体が地面にたたきつけられた。その衝撃により、腰椎を圧迫骨折した。積載荷重を越えてはいなかった。両足は動く。	66	～ 29
7	17～ 18	場内の水路にて、散水車に給水作業をしていた。給水作業が終了し、給水車のタンク上の蓋を閉め、給水用ホースを持ってタラップを降車中に、バンパーに両足をかけたところ足を滑らせて80cm下の地面に着地し、両足かかとを受傷した。	55	～ 9
9	17～ 18	工事箇所へ接した道路上において、舗装作業終了の小道具、転圧機械のトラックへの積込作業時に発生した。ローラーを所定の位置に格納後、車輪ロックが掛からないので、再度エンジンを始動して小さく前後進をした際、誤ってトラックから転落した。ローラーも転落して、ハンドル部分が胸部を圧迫した。	42	～ 9
11	15～ 16	U字溝共同事業排水路工事に敷く鉄板を運搬する際、積み卸しの作業（てこ）中に、誤って荷台から足を滑らせて落下し、左肘を骨折した。	35	～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html